

おもな内容

主な議案の内容と質疑	2～5
第3回定例会の日程	3
決算の審査	6・7
市政に関する一般質問(11人が登壇)	8～13
常任委員会の審査	14
審議結果一覧	15
行政視察報告	16



くろこずもう
黒虎相撲

11月3日に袋区の太田神社の秋季例大祭において、江戸時代から続く伝統行事の「黒虎相撲」が奉納されました。まわし姿の小学生が力強い取り組みを披露し、見物客からも大きな声援が送られました。

財政調整基金・地域振興基金の積み立てなど 補正予算額17億5,900万円を可決、 平成29年度旭市一般会計予算総額 303億6,900万円に

第3回定例会のあらまし

平成29年第3回定例会が、9月1日から9月22日までの22日間の会期で開かれました。
この定例会には、平成28年度各会計決算や、平成29年度一般会計補正予算、条例の一部改正、財産の取得など14議案が市長より提出され、原案のとおり、認定・可決されました。
なお、一般質問では、11人の議員が登壇し市政全般にわたって議論が展開されました。

主な議案の内容と質疑

決算

(平成28年度)

▼議案第1号

平成28年度旭市一般会計決算の認定について

問 市債について、予算現額34億8,250万円に対して、歳入済額が24億8,890万円、約10億円の減となった理由は、

(林晴道議員)

答 合併特例債を財源とした事業費の確定による減と、事業を翌年度へ繰り越したことにより差が生じました。

問 コミュニティバス等運行事業について、運行経路の見直し、夏季シーズン、土日祭日等の運行方法を今後どのように考えているのか。

(林晴道議員)

答 地域公共交通網計画の策定のため、運行業者、鉄道、路線バス、タクシー等の業界の代表者と学識経験者、住民代表、社会福祉協議会役員の方等で構成された委員会の中で、将来の旭市の公共交通網のあり方について、検討しているところです。



第3回定例会の日程

9月1日(金) (開会)

- 人事の紹介
- 議長報告事項
- 会議録署名議員の指名
- 会期の決定
- 議案の上程
- 提案理由の説明並びに政務報告
- 議案の補足説明及び報告の説明

9月5日(火)

◇追加日程

参考人の出席要求に関する件

- 議案質疑
- 決算審査特別委員会設置・委員の選任
- 決算審査特別委員会へ議案を付託
- 決算審査特別委員会委員長及び副委員長の当選結果報告
- 常任委員会へ議案付託

9月7日(木)

- 市政に関する一般質問

9月8日(金)

- 市政に関する一般質問

9月11日(月)

- 市政に関する一般質問

9月12日(火)

- 決算審査特別委員会

9月13日(水)

- 決算審査特別委員会

9月15日(金)

- 建設経済常任委員会

9月19日(火)

- 文教福祉常任委員会

9月20日(水)

- 総務常任委員会

9月22日(金)

- 決算審査特別委員長の議案報告
＜質疑・討論・採決＞
- 常任委員長の議案報告
＜質疑・討論・採決＞
- 事務報告

(閉会)



新しく購入した消防はしご車

問 消防車両整備事業について、購入したはしご車は何年使用する予定なのか。また、以前の使用した車両の処分方法は、
(林晴道議員)

答 安全基準により17年使用を予定しています。また、以前使用した車両は、62万6,400円で売却処分しました。

答

生涯活躍のまちの形成については、導入機能が多方面

(高橋利彦議員)

問 旭市生涯活躍のまち計画策定支援業務委託料について、なぜ業務委託をするのか。

また、臨時財政対策債を借りない場合についても、地方交付税の中で算入されます。

答

臨時財政対策債は、決算の見込みが難しい年度の早い段階で手を挙げなければならぬ事情があり、平成28年度も借りている実態です。

(高橋利彦議員)

問 平成28年度一般会計の実質収支が約15億7,000万円ほど出た中で、臨時財政対策債を9億円借りた理由は。また、借りない場合は交付税措置されないのか。

00円で売却処分しました。

問

生活保護費について、医療費は一般の人と比較してど



マイナンパカード

答

平成29年7月末現在、4,996枚です。

(高橋利彦議員)

問 通知カード・個人番号カード関連事務委託交付金が1,000万円あるが、マイナンバーカードの交付状況は。

に及ぶこと、事業手法や先進地事例の情報収集や研究など特殊性、専門性が非常に高く、ノウハウを持つ業者に委託する必要があると考えています。

通知カード・個人番号カード関連事務委託交付金が1,000万円あるが、マイナンバーカードの交付状況は。

答

生活保護受給者は、高齢者世帯や身体障害者など不利な条件を背負った方が多く、一般の方と比べて医療費の総額が高くなっています。

また、ジェネリック医薬品の使用割合は、旭市で88・6%で、県内でも上位です。

(高橋利彦議員)

▼議案第2号
平成28年度旭市病院事業債管理特別会計決算の認定について
旭中央病院が平成28年度から地方独立行政法人への移行に伴い、病院事業債の借入れ及び償還については、市を経由する必要があるために設置した特別会計です。

▼議案第6号

平成28年度旭市下水道事業特別会計決算の認定について

問 運転業務委託料と汚泥等運搬処理業務委託料の内容は。
(林晴道議員)

答

運転業務委託料は旭市浄化センター、中央汚水ポンプ場及び旭駅前汚水マンホールポンプ場の運転業務委託で、各種機器の運転及び監視記録、機器の点検整備及び調整などを委託しています。

汚泥等運搬処理業務委託料は、公共下水道事業において発生する汚泥を処分する業務で法令に基づき適正に処分しています。

▼議案第8号

平成28年度旭市水道事業会計剰



本庁舎敷地内にある中央汚水ポンプ場

余金の処分及び決算の認定について

年度末の給水人口は、5万7,755人、普及率は86・4%、年間給水量は580万9,013立方メートルとなりました。



増設工事が完了した海上配水池

補正予算

(平成29年度)

▼議案第9号

平成29年度旭市一般会計補正予算の議決について

問 地域振興基金は合併特例債が活用できる有利な制度で

速やかに行うべきと考えていましたが、なぜこの時期の補正予算で積み立てするのか。

答

(林晴道議員)
平成28年度決算で実質公債費比率が8・6%に改善し

たこと、当初借り入れた起債が平成28年度で全て返し終わったことから、今回の補正の時期に起債をして積み立てをすることにしました。

条例の制定・一部改正

▼議案第10号

旭市非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

法律の改正に伴い新たな教育委員会制度により教育委員会の委員長と教育長を一本化した新しい教育長が就任し、教育委員会委員長の職名が廃止されたことにより改正するものです。

協議

▼議案第11号

千葉県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について

この協議は、千葉県市町村総合事務組合が平成30年4月1日から共同処理事務に新たに軽自

動車税の申告書の受付、発送等の事務を始めることに伴い、関係地方公共団体の議会の議決を求めるものです。

財産の取得

▼議案第12号

財産の取得について

取得する財産は、小型動力ポンプ付積載車3台で、旭市消防団第3中隊第3分団第3部、第5中隊第2分団第2部及び同中隊第3分団第1部に配備されるものです。

○取得金額

2,311万5,060円

○取得の相手方

市原市青柳北二丁目1番地22
株式会社 吉田商会

その他の議案

▼議案第13号

地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院定款の一部変更について

地方独立法人法が改正され監事の任期を、理事長の任期に対応させる必要が生じたため、議

平成28年度一般会計及び特別会計決算額(※丸数字は議案番号)

会計区分			歳入	歳出	差引額
①一般会計			328億7,448万 814円	312億1,388万9,100円	16億6,059万1,714円
特別会計	②病院事業債管理		27億3,692万7,179円	27億3,692万7,179円	0円
	③国民健康 保険事業	事業勘定	106億1,697万 562円	101億7,847万5,663円	4億3,849万4,899円
		施設勘定	8,623万2,389円	8,032万6,272円	590万6,117円
	④後期高齢者医療		5億5,875万3,864円	5億4,250万4,468円	1,624万9,396円
	⑤介護保険事業		48億1,295万2,504円	46億9,280万6,484円	1億2,014万6,020円
	⑥下水道事業		5億9,715万9,961円	5億2,350万3,390円	7,365万6,571円
	⑦農業集落排水事業		9,858万7,527円	8,672万9,384円	1,185万8,143円

平成28年度旭市水道事業会計決算額(※丸数字は議案番号)

会計区分			収入	支出
企業会計	⑧水道事業	収益の収入及び支出	16億2,036万4,998円	13億8,607万3,330円
		資本的収入及び支出	3億9,498万2,880円	4億6,892万6,958円

会の議決を求めるものです。

る認可について

▼議案第14号

地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院中期計画の変更に係

中期計画は、中期目標を達成するための計画で、期間は平成28年度から平成31年度までの4年間となっています。

現中期計画では、看護師の宿舎については、「中期計画期間中にあり方について検討し、必要に応じた設置計画を新たに策定する」とありますが、近隣病院の開院状況や施設の老朽化などから、看護師確保のためには、中期計画期間中に整備する必要があると判断したことから、中期計画を変更する認可について議会の議決を求めるものです。

問 看護師宿舎建設のための具体的な計画は。

(林晴道議員)

答 30年以上経過した看護師宿舎6棟を新しく建て替えたかと考えています。

部屋数はおおむね166室、これを国際医療福祉大学成田病院が開院する平成32年までに建設し、病院の安定した経営を続けていきたいと考えています。



現在の看護師宿舎

報告

▼報告第1号

平成28年度旭市奨学基金の運用状況について

▼報告第2号

平成28年度旭市高額療養費貸付基金の運用状況について

▼報告第3号

平成28年度決算に基づく旭市の健全化判断比率について

▼報告第4号

平成28年度の旭市公営企業決算における資金不足比率について

▼報告第5号

地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院の平成28事業年度の業務実績に係る評価結果について

▼報告第6号

地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院の事業経営状況について

▼報告第7号

私債権等の放棄について

本会議での討論

9月22日の本会議において、議案第14号、地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院中期計画の変更に係る認可について、討論がありましたので要約して掲載します。

《反対討論要旨》

旭中央病院が地方独立行政法人になり、初めて決算が公表さ

の建設が、看護師確保の特効薬になるのか、大きな疑念を抱かざるを得ません。

それと大きな問題は、市民の命と健康を守る病院であるにもかかわらず、紹介状がなければ、選定療養費がかかり自由に病院にかかることができません。市民のメリットは全くありません。市が借金をしてまで建設費を貸すことを、市民にどのように説明できるのか。むしろ、民間に任せれば、市民の収入も増え、市の税金も増えます。また、病院の維持管理もかからず、看護師も要望する所へ入居することができ、満足できると思います。

それらのことにより、中期計画に係わる看護師マンション建設について、反対いたします。

(高橋利彦議員)

《賛成討論要旨》

旭中央病院は、地方独立行政法人へ移行し1年が経過し、平成28年度の経営実績は、延べ入院患者数、延べ外来患者数ともに前年度を上回り、当期純利益も前年度を大きく上回る利益を計上するなど良好な経営を継続

しているとの報告がありました。病院経営にとって、医療スタッフの確保、育成は大きな課題であり、看護師の確保は、千葉県は全国的にも厳しい状況で、近隣でも看護師不足により、病床がフル稼働できない病院も複数生じています。このような中、成田市において、平成32年の国際医療福祉大学成田病院の開院や県内都市部で新たに1,300床以上の増床を進めるなど、看護師確保をめぐる環境は、より厳しさが増すところです。こうした環境変化に対応し、安定した病院経営を継続していく一環として、現在の共同の風呂、トイレから脱却し、保育所を併設した看護師宿舎の早急な整備が必要です。また、災害対応や深夜の勤務交代などを考え、病院の敷地内に看護師宿舎を用意することが安心、安全につながるものと考えます。

看護師の確保は、安定した病院経営のために重要かつ喫緊の課題であり、順調な経営を行っている今こそ、将来への布石を打つべきとの考えから、賛成いたします。

(米本弥一郎議員)

決算の審査

決算審査特別委員会を設置 平成28年度の執行状況をチェック

決算審査特別委員会が設置され、委員9名の選出とともに委員長に伊藤房代議員、副委員長に宮澤芳雄議員が選出されました。

決算審査には、市執行部からは副市長、教育長ほか関係職員が出席し、平成28年度一般会計決算をはじめとした8議案について慎重な審議が行われました。

審査の結果、7議案は全員賛成で認定、1議案は全員賛成で可決及び認定するものと決して本会議に報告されました。

審査の項目は多岐にわたりましたので、その一部として主な審査内容を紹介いたします。



主な質疑内容

▼議案第1号

平成28年度旭市一般会計決算の認定について

問 児童交通安全街頭指導委託料199万6,500円の内容は。

答

小学校登校時に児童の通学のための誘導や安全通行を

問 防犯パトロール委託料134万5,993円の内容は。

答 委託先はシルバー人材セン

ターで、内容は年間200回、市内を3ルートに分けて実施しています。時間帯は、夏場の7月から10月は夕方5時から8時まで、それ以外は夕方4時から7時までパトロールを行っています。



通学路の見守りも行う防犯パトロール車

問 姉妹都市宿泊助成金の支給人数と、一人当たりの助成額は。

答

答 助成金の総額は115万7,530円で、宿泊先は姉妹都市の茅野市です。述べ人数は412人で、内訳は、大人335人、小学生68人、未就学児9人です。助成金は宿泊費の2分の1が補助となり、上限が大人3,000円、小学生2,250円、未就学児1,750円となっています。

問 定住促進奨励金交付事業で本市へ転入された内訳は。

答 県内からは、47世帯124人となります。うち近隣からは、銚子市から11世帯32人、匝瑳市から12世帯37人、香取市

から2世帯6人で、成田市から5世帯16人です。県外からは、9世帯18人となります。

問 福祉タクシーの利用助成事業の内容と利用人数は。

答 身体障害者の方で歩行や移動が困難な場合などの要件に該当する方に福祉タクシー券を配付しており、1回1,000円を上限に、1年間一人当たり一般の障害者の方は24枚、人工透析患者の方は94枚を交付しています。平成28年度は、537人に交付しました。

問 保育所等で実施している親と子どもの絆プロジェクト事業は、どのような企画があったのか。

答 事業内容の主なものは、夏祭りや発表会、遠足、音楽



親と子の絆プロジェクト(池の端保育所)

鑑賞会などで、保護者、祖父母を伴った事業がありました。

問 高齢者筋力向上トレーニング事業について、一定の成果を上げているようですが、この事業の内容は。

答 中谷里浜のあさひ健康福祉センターの2階にトレーニングルームがあります。内容は、在宅高齢者の方に対して行う筋力向上のためのトレーニング事業で、健康増進と介護予防を自発的に行うものです。週4日開

決算審査 特別委員会の構成

決算審査特別委員会委員は、各常任委員会(総務・文教福祉・建設経済)から3名ずつ選出された9名で構成されています。

委員長		
伊藤 房代(文教福祉)	副委員長	
宮澤 芳雄(建設経済)	委員	
景山岩三郎(文教福祉)	磯本 繁(建設経済)	宮内 保(建設経済)
伊藤 保(総務)	米本弥一郎(総務)	高橋 秀典(総務)
林 晴道(文教福祉)		



あさひ健康福祉センター内のトレーニングルーム

館しており、あさひ健康福祉センターの入場料(市民1回200円)を支払って使用できます。

問 特定不妊治療費助成事業の助成を受けて出産された方の人数は。

答 統計資料として使用の同意をいただいた平成28年度9月以降となりますが、申請組数は28組、出産数は6人です。

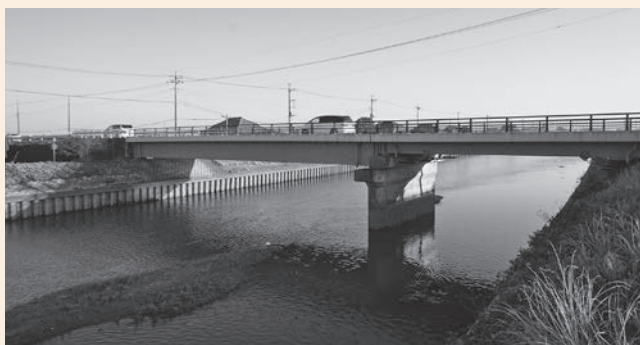
問 園芸生産強化支援事業は、農家の人にとっては人気のある補助事業で、待っている方が多いと思いますがその状況は。

答 この事業は、園芸作物の生産力や品質の向上、並びに省力化に必要な機械等の導入、生産施設の整備、改修を支援するものです。前年度に要望調査を実施し、要望があった方は全

て対応している状況です。

問 橋梁長寿命化修繕事業で予定している橋梁のうち、現在どのぐらい完了しているか。

答 長寿命化を予定している橋梁は全体で44橋予定しており、平成28年度の実績10橋と今年度2橋を含め20橋が完了しました。



橋梁長寿命化事業で修繕した谷丁場橋

問 津波被災住宅再建支援事業について、対象世帯のうち62%が完了ということですが、残りの世帯の方の状況は。

答 この事業は、津波被害、床上浸水を受けた世帯のうち、市内に住宅を建設、購入または

補修した被災者を対象に、その一部を補助するもので、全体対象世帯720世帯のうち、交付世帯は446世帯で残りの世帯は274世帯になります。残りの世帯の方へのアンケート調査の結果、申請の意思がない方が159世帯、今後事業を行なう世帯が115世帯ありました。

▼議案第3号

平成28年度旭市国民健康保険事業特別会計決算の認定について
問 加入率について、平成24年度は53・2%、平成28年度は46・5%で減少傾向が続いていますが、この背景と今後の推移は。

答 国民健康保険の加入者の減少は全国的な問題で、会社等の社会保険への加入促進もあり、旭市も年々減少傾向となっております。今後もこの傾向は続くものと思っております。

▼議案第7号

平成28年度旭市農業集落排水事業特別会計決算の認定について
問 事業費の執行率が58・8%と低くなっている理由は。
答 県道旭笹川線に埋設してある改修予定の管路780m

のうち、186・9mの更新工事が完了したところですが、予算編成時は、この倍の更新工事を県に要望しましたが、事業費がつかないため執行できませんでした。

▼議案第8号

平成28年度旭市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
問 海上配水場の配水地を増設すること、どの地域まで自然流下地域を広げられるか。また今後の計画は。

答 来年度から区域を広げる方向で考えており、江ヶ崎地区と網戸地区の一部約700軒を予定しています。また、今年度は江ヶ崎地区の一部約77軒と網戸地区の一部約51軒が、バルブ調整だけで広げることができると考えています。

平成22年度に作成された水道ビジョンでは、自然流下区域を拡張し、今ポンプで圧送している旧旭地区を軽減する計画となっています。
現在、国、県がビジョンの見直しを行っていますので、それに伴い市のビジョンも見直しをする予定でいます。

一般質問

市政に関する一般質問は9月7・8・11日の3日間行われ、11人の議員が登壇しました。
主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

政治倫理

政治倫理条例の制定を

(林晴道議員)

問

先般の市長選挙において、告示前から市政や行政に対して、信頼を損ねるような発言や発信が繰り返され、人格や品位、また議会の名誉を著しく損なうような行為がございました。市民からの受託者である市長並びに議員は、市民全体の奉仕者として人格と品位の保持に努めるとともに、市政に対する市民の信頼に応え、名誉を損なうような行為は行ってはなりません。

そこで、市長、副市長、教育長、議員を対象とした政治倫理条例が必要と考えますが、明智市長の見解を求めます。

答

政治を志す人は、市民、国民をおもんばかる気持ち、市民目線、市民の立場に立って物事を考える、そんな気持ちで行政に携わる、つかさどるべきだと私は考えております。条例については、今後研究していきたいと考えているところであります。

消防

報酬の増額を

(林晴道議員)

問

近年、消防団の再編などにより活動範囲が大きくなった地域もございます。消防団各部に対する運営費の拡充、もしくは報酬の増額をぜひ検討していただきたいと思いますが、長年にわたって消防団活動でご奉仕いただいた明智市長の見解を求めます。

答

消防団も合併してから徐々に改編をしまして、



出初式に参加する消防団員

選挙

期日前投票の啓発を

(滑川公英議員)

問

千葉県知事選挙の投票率は、旭市は32・26%、県内40位、投票所の削減が低投票率に直結しているのではないかと復活できないのであれば、期日前投票をもっと啓発していただきたい。

他の都市では投票率の発表のほかに、期日前投票のカウントがその投票所ごとに載るのに、なぜ旭市は、19投票所ごとに載せることができないのか。載せられない理由があるのか。

答

期日前投票についてはしっかりと周知をしていきたいと思っています。期日前の投票率を載せることについては、そういった団体があるという中であれば、旭市選挙管理

一般質問の質問事項

発言議員と質問事項を紹介いたします。



林 晴道
議員

- 1 市長の政治姿勢について
- 2 新教育長の所信について
- 3 総合戦略について
- 4 財政について
- 5 資金運用について
- 6 消防団について



滑川 公英
議員

- 1 道の駅について
- 2 投票所について
- 3 マイナンバーカードについて
- 4 飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業について



高橋 利彦
議員

- 1 旭中央病院について
- 2 職員採用について
- 3 市長車等について

委員会におきましても、可能であれば対応するといったことで、検討させていただきます。



10月に実施された衆議院議員総選挙の開票所の様子(総合体育館)

道の駅

販売方法の改善を

(滑川公英議員)

問

「道の駅で、自分で出した野菜のそばに、市場經由の自分の野菜が安い価格で並んでいる。」「道の駅に出したくないのに、自分の野菜が並んでいる。」「出荷者の名前でない道の駅の名前で販売されてい

る。」このような生産者からのクレームがありました。

8月に改善を要望しましたが、どのように対処したのか。

答

道の駅では、売り場の状況を確認し、品物が切れることのないように追加しており、出荷者の品物を優先的に陳列するよう指示したところですが、しかし、日常的に必要な野菜・果物等、全てそろえられず、来るお客様の立場から考えますと、品ぞろえも考慮していかなければならないということ、苦慮しているところで、JAちばみどりから仕入れる場合、一旦都内へ出荷したものを再度旭市へ持つてくることで、輸送コストがかさむことから量は少ない状態です。引き続き運営会社に対し、対策を図るよう伝えてまいります。

生涯活躍のまち構想

リハビリ病院の実現は

(島田和雄議員)

問

今回の市長選挙で、市長は、生涯活躍のまち構想

を推進するためにリハビリ病院

の建設を打ち出されました。こ

れは、市民にとっては待望の施設です。ぜひとも実現していた

だきたいと思いますが、どのような形で実現を考えているのか。

答

今、十分精査しているところで、旭中央病院の全面的な協力をお願いし、理事長も快く協力させていただきたいということでした。中央病院に不足しているリハビリテーション病院ができればという話で進めていますが、農振法の農振除外ができて初めて関連企業にも参加していただけるということで頑張っているところです。見通しとしては、非常に明るいと

ころですので、期待していただきたいと思っています。

※農振除外

農用地区域の土地を農業用以外の用途に利用したい場合に除外の手続きが必要になる。



旭中央病院周辺で生涯活躍のまち構想を計画

なぜ構想が中央病院周辺なのか

(高橋利彦議員)

問

生涯活躍のまち構想について、中央病院周辺でなければならぬのか。

答

中央病院との関係がなくしては、この生涯活躍のまちそのものの計画が成り立ちません。これに参画する企業は、中央病院がどういう態度でいるのかということを今聞いているところであります、中央病院

4 職員駐車場について

5 行政財産について

6 生涯活躍のまち構想について

7

海上中、飯岡中跡地の交流、観光拠点について

8 地域間バランスの取れたインフラ整備(道路)について

9 若者が旭に帰ってくる魅力あるまちづくりについて

10 雇用の安定で、人口減少ス

トップについて

11 労働力不足解消のための国家戦略特区指定について

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35



島田 和雄
議員



伊藤 保
議員

の近くでなければ参加しないというような企業ばかりです。中央病院の周辺でやるということが大前提だという思いで今進めているところであります。

若い世代にとっての魅力は

(高橋秀典議員)

問 リタイア後、都会から地方へ移住して、継続的な医療・看護・介護が受けられる地域を作るということは、中高年層の移住をターゲットとしたもののように思われます。自治体維持のために大切なことは、世代間の人数的バランスだと思いますが、本構想において若い世代についてどのように位置づけているのか。

答 生涯活躍のまち構想においてメーンターゲットは、確かに都市部のアクティブシニアという世代ですが、本構想は、若者にとっても魅力のあるまちを目指しています。医療と介護を連携させ、関連企業の集積を図り、雇用の場を提供し、そこに従事する方々の住居もできれば、より魅力的な構想になると考えています。

職員駐車場

駐車場が 必要な根拠は

(高橋利彦議員)

問 市民・国民の税金で成り立っている行政は法令遵守でなければなりません。自治法において、通勤手当はありませんが、駐車場手当はありません。市が駐車場を確保するということは、実質、闇手当であります。しかし、駐車場確保は必要だということですが、その根拠について伺います。

答 県内の状況も調べたところ、市が借り上げて職員に貸し付けている団体も幾つかございます。市所有の駐車場を確保した中で賃料をとっている団体、または全く無償で職員に駐車場をさせている団体等々いろいろございます。

旭市の職員はおおむね1台当たり3,000円の駐車料金に對して3分の1の1,000円ほどですが、負担もさせていただいているところです。そこについては、ご理解をいただければと思っています。

公共施設

遊具の総点検を

(伊藤保議員)

問 保育所、小学校に設置してある遊具は、修理しながら使用していると伺っており、遊具の耐用年数は、構造部分が鉄製の場合は15年、木製の場合は10年を目安とあります。設置から半世紀以上になるところもありますので、1回総点検をして、取り替える基準を設けながら、取り替えられるところは取り替えていただきたいと思いますが。



点検等を行いながら使用している遊具

答

職員による点検は毎月実施していますが、遊具はだいぶ古いものが多くあります。取り替える基準は設けていませんが、修繕等に対応し、維持管理を行っている現状です。修繕等が不可能となった場合には、使用禁止や撤去により、安全確保をしています。必要に応じて、新設等も行っていきたいと考えています。

防災

感震ブレイカーの 設置を

(伊藤保議員)

問 停電して再び通電したときに起きる火災を防ぐ感震ブレイカー、これはどのようなものなのか。この啓発活動をどのようにやっていくのか、伺います。

答 感震ブレイカーは地震発生時に設定値以上の揺れを感じたときにブレイカーやコンセントの電気を自動的に遮断する器具です。

今後の取り組みについてですが、感震ブレイカーは全国的に



米本 弥一郎
議員

1 市長の政治姿勢について



伊藤 房代
議員

1 学校給食について
2 老人クラブについて
3 介護予防について
4 医療費の無料化について



磯本 繁
議員

1 AEDの設置について
2 農業について
3 健康づくりについて



太田 将範
議員

1 就学援助について
2 教育環境の改善について
3 国民健康保険について
4 介護保険について

見ても認知度、設置率ともに低い状況です。今後は市の関係部署と協議し、市民の皆様に認知してもらうための普及啓発と旭市のホームページ及びイベント等を活用して、感震ブレイカーの設置の推奨を行い、市の防災、減災対策の一環として、推進をしていきたいと考えています。

道路

区の取り組みに支援を

(島田和雄議員)

問 個人の土地から道路に張り出している木の枝など、

交通に支障を来して地元で困っている場所について、私の地域で、区長を先頭に、3年間で3回、木の伐採、雑草の草刈りなどを実施しています。自分たちの地域を守る、住みやすくするといった取り組みが各地で実施できれば、道路ももっと通行しやすくなると思います。

答 このような取り組みを育成支援する仕組みを作っていたきたいと思いますが。

組織そのものは、今のところは区の皆様方にお

願う以外はないと思います。旭市は、安全・安心なまちづくりという大きなスローガンを持っているところです。そういった観点からも、区の皆様方がそういった仕事をしてくださる場合には、補助金や助成制度を前向きに検討していただければならないと考えているところです。

まちづくり

持続可能な財政の政策は

(米本弥一郎議員)

問 平成33年度の財政推計では実質単年度収支が赤字となります。持続可能な旭市、持続可能な財政のために、どのような政策をお考えか。

答 将来にわたって持続可能な旭市、現状の旭市を維持発展させるために最優先に取り組んでいかなければならない政策としては、やはり人口減少対策であると考えています。

市の総合戦略には、重点戦略として4つの重点プロジェクトと生涯活躍のまち構想を掲載し



旭市は人口減少対策が最優先

てありますが、総合戦略策定の趣旨は、人口減少の歯止めと持続可能なまちづくりです。

旭市には、地域資源の宝でもある旭中央病院、豊かな自然環境や農産物、さらには観光資源など、さまざまな地域資源がありますので、それらを総合的に活用しながら重点戦略を推進しているところです。

教育

小・中学校の再編は

(米本弥一郎議員)

問 教育長より学校教育の充実という所信表明があり

ました。学校教育の充実のために、小・中学校の再編は避けて通れないと考えます。ご所見をお伺いします。

答 小学校では、1学年1

学級の学年が多くなってきています。また、中学校では、1学年2学級という学年も増えてきている状態です。このようなことから、旭市においても、少子化に伴う「学校の小規模化」による学校教育の影響が少なからず生じるように考えております。そこで、旭市の未来を担ってくれる子どもたちのために、よりよい教育環境を整えるために、市並びに教育委員会としても、これを推進することは大変重要であります。

今現在は、小・中学校の再編を早急に進めなければならない状況にはないと思いますが、先を見通した検討を加速させることが必要と考えています。

給食費の完全無料化を

(伊藤房代議員)

問 学校給食について、第3子以降の給食費が無料になりましたが、我が旭市は米、



高橋 秀典
議員

1 本市の持続的発展に向けて公共施設・インフラ等の整備について

2 観光政策について

3 企業誘致について

4 介護予防・日常生活支援総合事業について



木内 欽市
議員

1 安心安全なまちづくりについて

2 海上キャンプ場について

3 コミュニティバスについて

4 投票所について

肉、野菜、卵、果物など、自給自足のできる市だと考えます。少子化の時代を乗り切るため、給食費を第一子より完全無料化にできないか質問いたします。

答 本年4月より第3子以降の給食費無料化を実施しているところです。無料化による市の負担額は、年間約950

万円の見込みです。完全無料化による継続的な経

済負担額は、年間おおよそ2億3,200万円が見込まれるため、財政への大きな影響が懸念されます。また、税の公平・公正といった部分で正しいのかといったこと、国・県から給食費につながる政策が出るのかということも注視しながら、これから十分検討していきたいと思っております。

学校にエアコンの設置を

(太田将範議員)

問

財政調整基金に約80億円積んであります。旭市に

若い人が来てもらうためには、学校教育の環境は非常に重要なことだと思います。各学校にエアコンの設置を求めることについて、回答をいただきたい。

答

現在、学校の暑さ対策として、全ての普通教室に天井型扇風機を設置しています。市では現在、児童・生徒の安心・安全に係る施設整備を優先的に進めており、体育館の防災対策として、つり天井や外壁及びバスケットゴール等の非構造部材の落下防止対策の工事を実施しているため、エアコンの



学校に設置してある天井型扇風機

設置計画を立てるまでには至っておりません。

大規模な改修工事のめどが立ちましたら、さらなる環境改善に向けての課題として検討していきたいと思えます。

健康

高校3年生までの医療費を無料に

(伊藤房代議員)

問

現在、中学3年生までは医療費が無料になりましたが、高校3年生までの医療費

を無料にできないか、市長の考えを伺います。

答

高校3年間の医療費がどのくらいかかるのかをよく精査いたします。隣の銚子市でも平成30年度から高校3年生までの医療費を無料化するというような政策を打ち上げたところであり、銚子市の財政状況を考えますと、旭市ができないことはないという思いでいるところであります。高校3年生までの医療費無料化については、十分前向きに検討していきたいと思っております。

B型肝炎

予防接種の周知は

(磯本繁議員)

問

B型肝炎ウイルスは乳幼児に感染すると、生涯にわたる感染状態が続き、成長後慢性肝炎を発症し、肝がんや肝硬変に進行する恐れがあります。B型肝炎は完治することはないので、

感染を防ぐために、旭市では予防接種についてどのように周知しているか。

答

B型肝炎の予防接種は、対象年齢が1歳未満で

接種回数は3回となっています。

ワクチンを接種することで、体の中に抵抗力、免疫ができ、一過性の肝炎を予防できるだけでなく、生涯にわたり感染が継続する状態のキャリアになることや、周りの人への感染を防ぐことができます。

周知方法は、個人通知の郵送や新生児訪問時、乳児健康診査時に予防接種について説明し、各保健センター、医療機関にポスターを掲示、広報、ホームページでも周知を図っています。また、未接種者へは再勧奨通知を郵送しています。

救急

AED設置の状況は

(磯本繁議員)

問

心停止状態に陥った場合、救命率が1分間に7%から10%低下すると言われ、5分以内にAEDが使用できる体制が必要です。旭市のAEDの設置場所と台数、AEDの指導はどのようになっているのか。

答

設置場所は、市役所本庁や各支所、総合体育



AEDを使った訓練の様子

館、市民会館及び健康福祉センター等、合計21か所、21台です。小・中学校は、合計22台を教育委員会が管理しています。ほかに県の施設として高等学校、東総運動場等9か所に12台が設置されています。民間施設は任意で設置していることから、全てを把握できていないのが現状です。

AEDの指導状況については、平成28年度は合計71回の講習会を行いました。心肺蘇生法とAEDの取り扱い方法等を実施し、いざというときに迷うことなく使用できるように指導を行っています。

国民健康保険

広域化に伴う影響は

(太田将範議員)

問

国民健康保険について、千葉県国保運営協議会でどういう議論がされているのか。先日、報道では、広域化に伴う国保の1人当たりの保険料が、旭市の場合、マイナス1万2,000円と発表されました。この原資を使い、どのような形で市民に還元するのか。

答

千葉県国保運営協議会は、計4回開催され、直近の8月8日の協議会では、骨子案が提示され、パブリックコメントの実施が発表されました。会議では、納付金・標準保険料率は、案の段階ですが、千葉県における保険料の標準的な算定方法が示されています。

目標収納率については、中間年度に当たる平成32年度と最終年度に当たる平成35年度までの目標値を市町村の規模別で設定するというになりました。1万2,000円下がるというのは、県が公費で激変緩和を最大限にした場合の数値という

ことで、これは29年度ベースの仮算定で、今の段階で完全に下がるかどうかというのは、はっきりとは分からない状況です。

福祉

軽度認知障害の早期発見を

(高橋秀典議員)

問

介護予防について、MCⅠ(軽度認知障害)の段階での早期の発見・対応によって、かなりの確率で認知症への移行を防止あるいは遅らせることができると思われると思います。これは本人はもちろん、家族にとっても大変大きなことです。健診等の際に問診の項目に入れる、あるいはその時にアンケートを行うなどして早期発見の機会を作ってはいかがが。

答

旭市でも高齢化の進行に伴い、年々認知症が増えている状況です。今後は、本人や家族が小さな異常を感じたときに、早期発見、早期対応ができるよう、正しい知識の普及啓発活動や相談窓口の周知について



積極的に行っていきたいと考えています。

問診項目の追加やアンケート等については、高齢者福祉課、健康管理課等が連携を図り、MCⅠの早期発見に努めていきたいと思っています。

コミュニティバス

コミュニティバスの継続を

(木内欽市議員)

問

コミュニティバスについて、市民に対するアンケートや意見交換会が行われました。お考えがあつてのことと思いますが、コミュニティバス

は生活弱者のためです。費用対効果で利益が出るなら民間がやります。みんなから集めた税金をみんなのために使うという行政サービスの原点に返っていただいて、ぜひ存続していただきたいと思うのですが。

答

意見交換会、アンケートを実施し、公共交通全体の意見を聴取し、その問題点を地域公共交通会議で検討していく形で結んでいくかということとを地域公共交通会議で検討していただくことになります。持続可能な公共交通ということで開催をしていますので、いきなりやめてしまうということを前提として開催されているものではないと思います。あくまでも持続可能ということが第一条件です。で、ご理解をお願いします。

防犯

防犯カメラを中心部以外にも

(木内欽市議員)

問

防犯カメラの効果は大きいと考えています。市の中心部や各商店街にはだいたい

防犯カメラが設置してあるようですが、銚子市や東庄町との市境のほうは全くなく、街灯もありません。倉庫荒らしや空き巣等の犯罪も多く、犯人が逃げる道の所要所にも設置していただけないでしょうか。

答

旭市が設置する防犯カメラは、市が管理する施設や犯罪が多く発生する駅前・商店街等を中心に111台を設置しているところです。今年度は、保育所と小・中学校に49台を設置することになっています。今後、警察とも連携を密にして、犯罪抑止効果が十分に期待できる場所を選定して、近隣市等の状況も踏まえ、検討させていただきます。



商工会館前に設置してある防犯カメラ

常任委員会の審査

建設経済常任委員会

9月15日(金) 午前10時～
1 議案の審査

建設経済常任委員会審査の様子



議案第9号

平成29年度旭市一般会計補正予算の議決について
のうち本委員会所管事項について

問

さわやか畜産総合展開事業の採択要件は？

答

家畜排せつ物の有効利用を目的とした堆肥
化施設及び汚水浄化施設の機能向上や堆肥
利用の促進に関する機械等の整備、脱臭設
備等の周辺環境設備を行う場合に支援され
る。採択要件は、堆肥の利用が拡大し、資
源環境の取り組みを促進することが見込ま
れ、かつ利用形態が3戸以上の共同利用ま
たは1戸の認定農業者になる。

審査の結果

委員会付託の1議案について、全員賛成で、原案
のとおり可決

委員会の審査終了後、銚子市のウオッセ21(銚子
水産観光株式会社)を視察

文教福祉常任委員会

9月19日(火) 午前10時～
2 議案の審査

文教福祉常任委員会審査の様子



議案第9号

平成29年度旭市一般会計補正予算の議決について
のうち本委員会所管事項について

問

保育士処遇改善事業の実施の時期と方法
は？

答

旭市保育士処遇改善事業補助金交付要綱
の施行を10月1日に予定しており、この要
綱に基づき、各施設にこの補助金の内容と
補助金の交付申請を促し、申請内容を審査
した後、概算払いにて交付する。対象施設は、
勤務要件を満たす保育士に対して、毎月の
給料に補助金2万円を上乗せ支給し、事業
終了後、対象施設から実績報告を受けて、
精算・確定する。

審査の結果

委員会付託の2議案について、全員賛成で、原案
のとおり可決

委員会の審査終了後、旭中央病院看護師宿舎な
どを視察

総務常任委員会

9月20日(水) 午前10時～
5 議案の審査

看護師宿舎を視察する総務常任委員会委員



議案第14号

地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院中期計
画の変更に係る認可について

問

今回の計画にある看護師宿舎建て替えにか
かる起債の交付税算入額の見込み額は？

答

看護師宿舎の整備にかかる起債は、2年に
分けて借り、合わせて17億3,000万円を
予定している。これを30年償還、5年据え
置き、元利均等償還、年利0.6%の固定
金利で試算すると、交付税算入額は約4億
7,900万円になり、元利償還総額の実質
負担額は約14億3,800万円を見込んでい
る。

審査の結果

委員会付託の5議案について、全員賛成で、原案
のとおり可決

委員会の審査終了後、旭中央病院看護師宿舎な
どを視察

平成29年第3回定例会 審議結果一覧

○=賛成 ×=反対 議=議長 ※議長は採決に加わりません。

議案番号	件名	議決結果	1	2	3	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
			林 晴道	高橋 秀典	米本 弥一郎	宮内 保	磯本 繁	飯嶋 正利	宮澤 芳雄	太田 将範	伊藤 保	島田 和雄	平野 忠作	伊藤 房代	林 七巳	向後 悦世	景山 岩三郎	滑川 公英	木内 欽市	佐久間 茂樹	林 俊介	高橋 利彦	林 正一郎	
市長提出議案																								
1	平成28年度旭市一般会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	
2	平成28年度旭市病院事業債管理特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	
3	平成28年度旭市国民健康保険事業特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	
4	平成28年度旭市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	
5	平成28年度旭市介護保険事業特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	
6	平成28年度旭市下水道事業特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	
7	平成28年度旭市農業集落排水事業特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	
8	平成28年度旭市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	可決 認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	
9	平成29年度旭市一般会計補正予算の議決について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	
10	旭市非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	
11	千葉縣市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び千葉縣市町村総合事務組合同規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	
12	財産の取得について(小型動力ポンプ付積載車3台)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	
13	地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院定款の一部変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	×	○	
14	地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院中期計画の変更に係る認可について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	×	○	



白熱した議論が繰り広げられる議場

議会中継をご存知ですか

市ホームページでは、市議会の定例会の様子を公開しています。議会の日程は市ホームページでご確認いただくか、議会事務局までお問い合わせください。議会の録画中継(本会議)は平成24年第2回定例会からご覧いただけます。市議会議場での発言の様子をぜひ映像でご覧ください。

詳しくは議会事務局へ
☎ 62・5304 62・5384

行政視察報告

議会運営委員会

7月11日、12日に、新庁舎建設にあたり、栃木県下野市及び茨城県坂東市を視察しました。

下野市は、平成20年3月に庁舎建設委員会から「有利な合併特例債を活用し、平成27年度までに1か所に統合し本庁方式による庁舎を建設する。自治医大駅西側が建設位置として最適である」と方向性が示され、市議会では庁舎建設特別委員会を設置、協議の上、「庁舎建設基本構想」を承認したとのことでした。



下野市役所を視察する議会運営委員会

建物は、延べ床面積9,729平方メートル、地上4階建ての明るいガラス張りの斬新なデザインで開放的な雰囲気でした。コンセプトは「市民に開かれ親しまれる庁舎」「風土と庁舎機能の特性に合う環境配慮型庁舎」「災害時に防災指揮と救援活動の拠点となる高機能防災庁舎」「歴史と風土を継承するデザイン」となっています。

議会フロアは4階で、傍聴席には防音仕様の親子席があり、自然採光を適度に取り入れた開放的な空間が特徴的でした。

2日目の坂東市は、平成18年3月に岩井市と猿島町が合併し、分庁方式でしたが、老朽化と東日本大震災で被災したことで新庁舎建設が急務となったそうです。コンセプトは「ランドマーク性の高い庁舎」「開かれた庁舎」「活気に溢れた庁舎」「災害に強い庁舎」「先進エコ庁舎」の5つで、延べ床面積1万2,802平方メートル、地下1階、地上5階の建物で、総事業費は約71億1,500万円です。議会フロアの議場は、カメラ等が簡

単な操作で発言者を写すなどできるようになっていました。

両市とも災害発生時の対応や最新技術を取り入れ、環境に配慮した庁舎で参考になりました。

文教福祉常任委員会

7月3日から5日の3日間、北海道恵庭市、小樽市、札幌市を行政視察しました。

1日目の恵庭市では、ごみの減量化やりサイクルの推進の取り組みの中で、下水終末処理場の既存施設を活用し、下水汚泥・し尿・浄化槽汚泥、生ごみを使ってバイオガスを効率的に発生させ汚泥浄化槽の加温や施設内暖房、さらにはマイクロガスタービンにより発電し場内の補助電力として活用していました。既存の処理施設を活用した生ごみのバイオガス化による発電までの利用は全国初の取り組みとなっています。

2日目の小樽市では、ごみステーションに家庭ごみを出せない世帯に対し、戸別にごみを収集しながら安否確認を行うサービス「ふれあい収集事業」を視察しました。家庭ごみの有料化を実施するにあたり、高齢者の孤独死に社会的関心が高まって



小樽市を視察する文教福祉常任委員会

いたこともあり開始したそうです。対象となる世帯は歩行困難病氣、介護を要する、障害などの事由によりごみ出しのできない世帯で、面談をして家庭状況ステーションの状況等を調査して決定しているとのこと、本市においても、高齢世帯や一人暮らしの高齢者も増えており、大変に参考になりました。

3日目の札幌市では、北海道開拓の村を視察しました。この施設は、明治から昭和初期にかけて建築された北海道各地の建造物を敷地に移築復元した野外博物館で、平成28年度の入場者は年間約12万5,000人とのことでした。

編集後記

21号22号と2週連続での台風襲来で、被害を被った皆様にご心よりお見舞い申し上げます。こうした自然災害に対し、個人・地域・行政それぞれのレベルで、平時からしっかりと備える必要を改めて感じる次第です。

さて、今回の議会だよりをもって、現在の委員会メンバーでの編集は最後となります。

編集委員会としては、議会と市民の皆様をつなぐパイプとして、読みやすく内容の充実した紙面へと、少しずつ改善を進めたつもりであります。が、いかがでしょうか。

より一層の紙面充実のために、皆様のご意見をいただきましたら幸いです。

今後とも、あさひ議会だよりをよろしく願っています。

(委員長・高橋秀典)

旭市議会だより編集委員会

委員長 高橋 秀典
副委員長 宮内 保
委員 米本 弥一郎
委員 林 晴道